

令和3年度 第4回遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会 議事概要

1. 日時

令和4年1月25日（火）13:30～15:15

2. 場所

遊佐町役場 議場

3. 出席者（敬称略）

遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会

遊佐町商工会：阿部 副会長

NPO法人遊佐鳥海観光協会：佐藤 理事長

庄内みどり農業協同組合 遊佐支店：佐藤 支店長

荘内銀行 遊佐支店：佐藤 支店長

株式会社きらやか銀行 遊佐支店：岡村 融資課長（代理出席）

株式会社山形銀行 酒田支店：吉田 支店長

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐パーキングエリアタウン調査特別委員会：高橋 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：池田 代表取締役

オブザーバー

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：田村 課長

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：根本 専門官

酒田港風力発電事業者協議会：加藤 会長

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：石川 課長補佐（代理出席）

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：佐藤 道路企画専門員

事務局

地域生活課：畠中 課長

産業課：渡会 課長

企画課 PAT 整備推進室：池田 係長

企画課 PAT 整備推進室：伊藤 主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社（PCKK）：桂田、鳴海

4. 議事

■議事概要

(1) 施設規模の設定・需要予測（案） 【資料3・4】

- ・施設規模について、概ね了承を得た。敷地内・施設内レイアウトについては、風況、除雪、鳥海山の眺望等に配慮することを念頭に、今後検討を進めていくこととする。

(2) 事業手法・事業の進め方（案） 【資料5】

- ・事業手法・事業の進め方について、概ね了承を得た。パートナーの在り方については、サウンディング調査の結果を踏まえて今後検討を進めていくこととする。

(3) サウンディング調査の実施概要 【資料6】

- ・サウンディング調査対象企業については、今後個別にご意見・ご推薦いただくこととした。

■議事内容

1. 開会

2. 挨拶

温井委員長より挨拶

3. 前回の振り返り 【資料1・2】

事務局

- ・【資料1】については、前回委員会でのご意見・対応を整理している。
- ・3. レストラン・飲食店については、滞在を促すのではなく、回転率を高めること及び町内・周辺エリアの散策を促すことに重きを置くこととし、レストラン機能は道の駅に導入しないこととした。
- ・5. 事業手法・事業者選定については、D0方式の採用を基本として、今後のヒアリング調査等を行うこととした。現運営事業者との相乗効果が図れるか、をポイントとした。
- ・【資料2】については、文言を一部修正し、イラストを追加している。土地利用計画図（案）について、前回に引き続き補足する。

PCKK

- ・敷地出入口の位置については既に決定しており、その上で大型車ゾーン・小型車ゾーン

を分離している。敷地出入口からの主動線より右側のゾーン（小型車駐車場・道の駅建物・多目的広場）のレイアウトについて、A案・B案を作成している。

～ 敷地平面レイアウトプラン比較表について、2案の特徴を説明 ～

- ・レイアウト決定における留意点やA案・B案どちらの方向性が望ましいか、議論いただきたい。

推進委員会 委員

- ・それぞれの案に理由があると思うが、遊佐町だけでなく庄内地域は冬季の北西風の強さがある。真冬の風、地吹雪によって吹き溜まりができる可能性があるため、風向を考慮した設計が必要だと思う。また、防雪帯による眺望の悪化、除雪のしやすさ等も配慮したレイアウトとしたい。

推進委員会 委員

- ・配置については、設計者からの提案を審査するのか、委員会で方向性を決めるのか、今後検討する必要があると思う。

事務局

- ・今後示す資料については、A案をベースに作成している。

4. 協議事項

(1) 施設規模の設定・需要予測（案） 【資料3・4】

～ 施設規模の設定・需要予測（案） 【資料3・4】について説明 ～

推進委員会 委員

- ・EV用駐車場が3台となっているが、今後EV車の市場が拡大する可能性もあるため、台数の増設対応は可能であるか。
- ・現道の駅には精米所があるが、需要から見て導入の必要性はどうか。

PCKK

- ・EV用駐車場台数については事例から設定しているが、今後のEV車需要に合わせて拡充していけると考えている。

推進委員会 委員

- ・精米所のある道の駅も多く、一消費者として見れば面白いと思うが、集客力のある施設ではないと思う。土日の施設混雑時も精米所は混雑していない印象である。現道の駅にも精米設備があるため、目を引くためには導入を検討しても良いと思う。

推進委員会 委員

- ・フードコートについては、道の駅象潟「ねむの丘」に隣接するにかほ市観光拠点センター「にかほっと」が競合となる可能性が考えられるが、面積等把握しているか。

事務局

- ・「にかほっと」のフードコート面積は380㎡であり、新道の駅では約1.2倍の450㎡を想定している。

推進委員会 委員

- ・施設内からの鳥海山の眺望にも価値があると思う。建物東側が山側になると思うが、バックヤードやトイレが東側に配置されているため、施設内から鳥海山が見えないのではないか。多目的広場越しに鳥海山が見える内部レイアウトが望ましいと思う。下屋を長めにとる等、半屋外スペースについても検討されたい。

推進委員会 委員

- ・鳥海山の眺望については、A案の場合建物を挟んだ裏側にあたるため、鳥海山を見るためには、多目的広場や2階テラスにわざわざ行かなければならない。詳細な施設内部レイアウトについては、今後検討を進めていくことになる。
- ・重点道の駅の指定等について、情報共有をしておきたい。

事務局

- ・重点道の駅について、国土交通省ではコロナウイルスの影響等により指定が見送られている状況であり、来年度についても見送られる見込みである。また、現在、防災道の駅の選定が注目されており、山形県内では、道の駅「いいで」が選定されている。国土交通省及び山形県においても、今後防災道の駅を推進していく方針である。ポテンシャルがあるという意味でも、重点道の駅の指定以上に、防災道の駅としての整備を進めていくことに重きを置いていきたい。

(2) 事業手法・事業の進め方(案) 【資料5】

～ 事業手法・事業の進め方(案) 【資料5】について説明 ～

推進委員会 委員

- ・前回決定した事業手法のイメージ及び現道の駅運営者との関わりが明示された。パートナーとして役割分担をしていく、という幅の広い提案をしてもらっている。

推進委員会 委員

- ・事業手法・事業の進め方については、スケジュール感も含めて、内容におおむね賛成である。
- ・【資料1】5. 事業手法・事業者選定の対応にもある通り、現道の駅の運営者が中心となることが望ましく、財務基盤・人員強化を行っていくイメージを持っている。
- ・「パートナー」について、「会社組織」または「個人」と記載があるが、イメージとしては財務基盤を強化するという部分で、法人株を持つ団体が理想だと思っている。全国からの公募ではなく、町内または庄内エリアでの公募とし、遊佐町と密接に関わる名物駅長となる人材がその組織にいる、というのが望ましい。

(3) サウンディング調査の実施概要 【資料6】

～ サウンディング調査の実施概要 【資料6】について説明 ～

PCKK

- ・(4)④当事業に関心があると思われる事業者について、皆様からご推薦いただきたい。

推進委員会 委員

- ・サウンディング調査対象企業③町内運営事業者の中には、現道の駅運営者である、遊佐町総合交流促進施設株式会社も含まれていると考えてよいか。

事務局

- ・現道の駅運営者については、③町内運営事業者に含まれるものとしている。

推進委員会 委員

- ・サウンディング調査において、名物駅長にもノウハウを聞くことは可能か。

PCKK

- ・名物駅長と呼ばれる個人については、誤解が生まれないう、サウンディング調査とは別に、考え方やノウハウについてヒアリングに伺うという方法が望ましいと思われる。

推進委員会 委員

- ・④当事業に関心があると思われる事業者について、温井委員長の中で関心のありそうな企業に心当たりがあるかお聞きしたい。現道の駅では精肉の販売がない等、現状の不足を補うような企業など、想定しているところがあればお聞きしたい。

推進委員会 委員

- ・山形県内や、東北の参考としたい道の駅にはヒアリングを行いたいと思っている。
- ・企業ではないが、現道の駅を移設するという事で、漁業関係者の方の反応も気になっている。

PCKK

- ・地域内のプレイヤーを発掘し活かしていくことも必要だが、今回のサウンディング調査では、そのようなプレイヤーを回していく、企画力のあるプロデューサーのような人材を探したいと考えている。例えば、精肉店をテナントとして入れるか入れないか、入れるのであれば、どんなことができる精肉店なのか、プロデューサーの視点で選定していく等のようなことができる人材である。

事務局

- ・サウンディング調査対象企業のご推薦について、すぐには難しいかと思うが、今後個別にご意見を伺うこととする。

5. その他

事務局

- ・サウンディング調査のスケジュールにもある通り、2月から調査を進め、結果のとりまとめについては、年度を跨ぐ予定である。年度を跨いで会議を開催していくことをご了承いただきたい。
- ・2月4日(金) 役場にて、事業認定に係る説明会の開催を予定している。事業認定とは、道の駅開設において、計画性を担保するために申請する制度であり、現在山形県と申請の手続きを進めているところである。今後新聞・HP・広報等で周知していく予定であることを共有させていただく。

6. 閉会